

元刑事も「盲点」と舌を巻いた ベンツ乗り付け泥棒の巧妙手口

現場に高級外車のベンツで乗り付ける大胆不敵な窃盗犯が逮捕された。警視庁捜査3課が16日までに逮捕したのは無職岡本進一郎容疑者(35)。不動産会社をターゲットにして、犯行を繰り返していた。その手口が判明した。

岡本容疑者は4月24日未明、都内の不動産会社に侵入し、現金約16万円を奪った疑い。不動産会社専門ドロで、犯行にはベンツの最高グレードで価格1000万円以上する白のSクラスを使用し、都内や神奈川県内で犯行に及んでいた。押収された手帳からは10か月間で約2200万円の「犯行成果」が書かれ、4年間では約200件、被害総額5000万円以上の余罪があるとみられている。

元神奈川県警刑事で「泥棒刑事」の著者・小川泰平氏は「一度だけ同じようなベンツに乗った窃盗犯を捕まえたが、まさかベンツに乗っているとは思わなかった」と振り返る。そもそも

窃盗を働く際に車を利用すれば、防犯カメラに録画されたり、ナンバーを目撃されたりするため、避けるもの。

ターゲットを不動産会社に絞っていたのも巧妙だ。「不動産会社は数十万円単位の現金や収入印紙が置いてあり、狙われやすい。しかも店先に物件の張り出しがあるので、夜に店前に車を止めて、立っていても「物件を見ている」と不審に思われにくい」(小川氏)

ここでベンツを使用する意味があるという。ベンツは普通車や軽自動車などに比べ、犯罪に使われる割合が低いからだ。「高級ベンツに乗っているのは、本当の金持ちだけではなく、カタギじゃない人も多い。そういう連中は(目立つ分)外からどう見られているか分かっているから、薬物を車内に積んでいたりするケースは少ない」(小川氏)

4年間も犯行を繰り返し、最後は派手すぎるベンツで足がつき、御用となった。